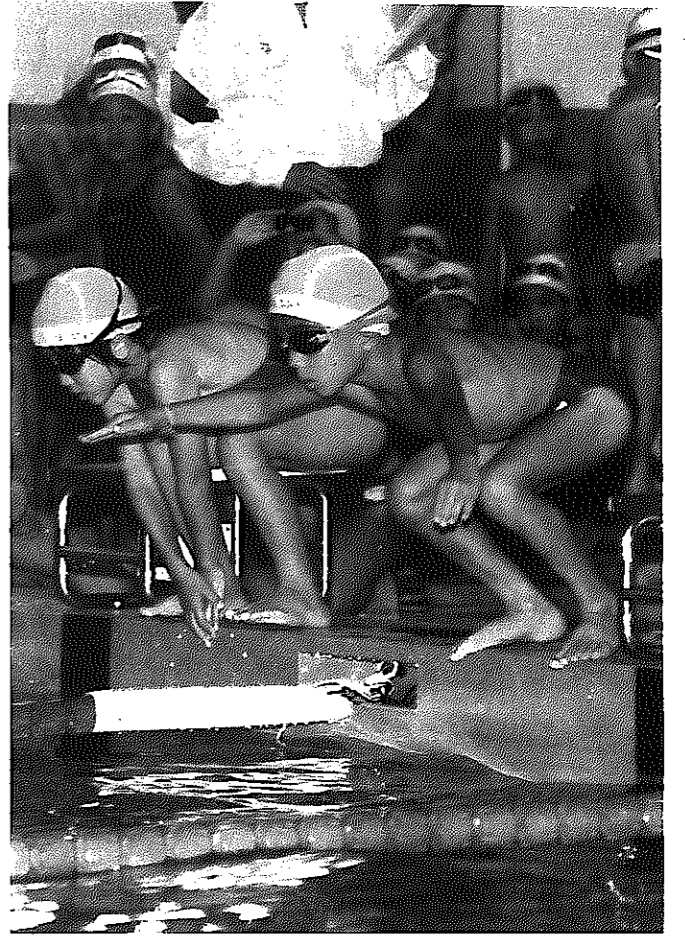


熱戦、激戦 スポーツの秋



世界を目指せ、トビウオたち

第1回市民水泳大会

十月三日、第一回白根市民水泳大会が池田スイミングクラブ白根プールで開かれました。

参加者は、八歳以下の子供から七十歳以上の高齢者まで百二十五人。初めての大会のため、事務局の配慮で市外からのオープン参加も認められ、盛大な大会となりました。

会場の屋内プールは大声援が飛び交い、むせかえるような熱気でいっぱい。ギャラリーには子供たちを応援しようと、たくさんのお親たちが詰めかけました。大歓声の

中、選手たちはクロール、バタフライなどの種目で素晴らしい泳ぎを見せ、激戦を展開しました。

市民の水泳大会は市内では初めて。主管の白根市水泳協会も今年四月に発足したばかりです。

「水泳大会というと、まだまだおっくうに思う人が多いですよ。気軽に参加してほしいですね」と語る田中由一協会長。「この大会が白根市の水泳人口の拡大につながり、いつか世界を目指す選手が出てほしい」と子供たちに期待を寄せていました。



心と体をリフレッシュ

カルチャーセンター
エアロビクス教室

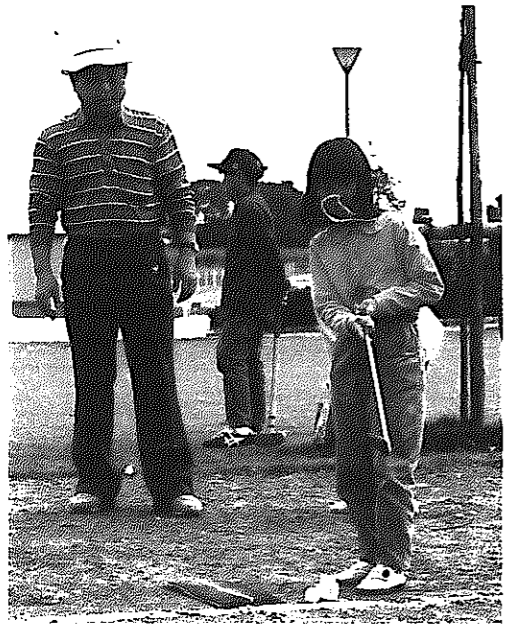
市民の健康づくりにと教育委員会が毎年行っているエアロビクス教室。九月一日から六回にわたってカルチャーセンターで開催され、百二十一人が受講しました。

参加者はほとんどが女性。初心者からほかのエアロビクスクラブで練習している人までさまざまです。受講時間は約一時間。その間まったく休憩を取らず体を動かし続けるのはかなりの運動量です。それでも「汗をたくさんかいて気持ちいい。ストレス解消になります」と参加者は満足そうでした。

十月十日の体育の日、カルチャーセンターが無料開放され、約三百人が訪れました。

当日は抜けるような青空が広がり、まさにスポーツ日和。参加者は用意されたさまざまなニュースポーツに汗を流します。グラウンドゴルフ、ラジボール卓球、パウンドテニスなど、いずれも手軽に楽しめるため、親子連れや高齢者に好評でした。

すぐに交流の輪が広がるのがスポーツの良いところ。屋外で行われたターゲットバードゴルフでは、参加者が集まってミニコンペを開催する姿も。秋空の下で親睦が深まっています。

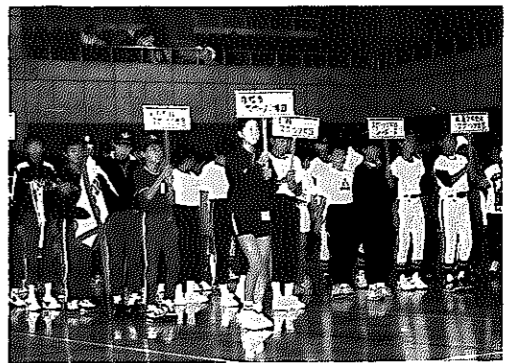


秋空の下、親睦が深まる

カルチャーセンター
無料開放

熱戦が幕明け

第22回市民総合スポーツ大会
総合開会式



十月十日、カルチャーセンターで第二十二回市民総合スポーツ大会の総合開会式が開催され、卓球、バスケットボールなどの市内の体育連盟、スポーツ少年団ら約四百人が出席しました。

白根市体育協会の笹川豊会長の開会宣言の後、スポーツ少年団代表の川又貴文くんが昨年度の交歓運動会の優勝杯を返還。また、選手宣誓では真保誠くんが「正々堂々戦うことを誓います」と力強く宣言。白根市スポーツ大会の幕が切って落とされました。

秋の白根路でふるさと再発見

白根ウオーク
ラリー大会

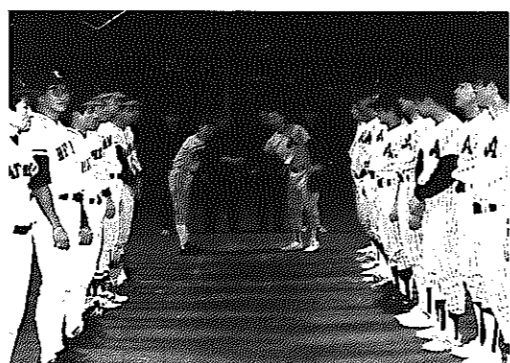


九月二十六日、白根地区公民館主催のウオークラリー大会が開かれ、八十チーム、二百三十人余りが参加しました。白根市街地を歩く四つのコースが設けられ、チェックポイントの問題を解きながら歩きます。途中、思わぬ雨に降られ、慌ててほかのコースの問題を解いてしまった人も。

無事に完歩した参加者たちは、速報板に掲示された得点に見入り、高得点に満足顔。頭と体をリフレッシュし、ふるさとを再発見した一日でした。

秋の夜に熱戦を展開

第1回中ノ口沿線
親善野球大会

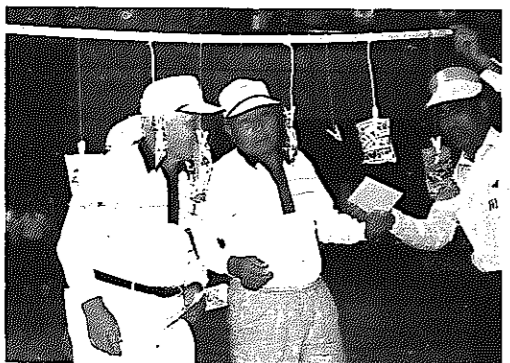


十月五日から十日まで、諏訪木運動広場で第一回中ノ口沿線親善野球大会が開催されました。

これは中ノ口川沿線の市町村の野球連盟が、交流を深めようと声を掛け合って実現したもの。開催地である白根市から二チーム、黒埼町、味方村、月潟村、中之口村から各一チームが出場し、ナイター照明の下、熱戦を展開しました。大接戦となった決勝戦では、中之口村が味方村を三対二と逆転。栄えある第一回の優勝の座に着きました。

孫の土産いただき

市老人クラブ連合会
第24回大運動会



九月二十六日、カルチャーセンターで開かれた、第二十四回白根市老人クラブ連合会の大運動会。約四百六十人が参加し、若さあふれる戦いを繰り広げました。

競技種目は、五つの個人競技と四つの団体競技。ゲートボールリレーなど老人クラブらしい種目も用意され、腕白慢たちが日ごろの練習の成果を発揮しました。熱が入ったのは、パン食い競争ならぬ菓子食い競争。「孫の土産に」と張り切る姿に大きな声援が送られていました。